

磐城時報

石城郡磐城町平野町十四
編輯兼發行所 岡田 弘 成
印刷所 加納活版所
印刷部 石城郡平野町十四
電話 一〇一四
廣告料 一行一ヶ月金拾五拾銭
訂金 一月一拾五拾銭
日刊（日曜、祭日）休刊

磐崎消防組で 若松組頭排斥運動

けふ小田部署長に會見

石城郡磐崎村消防組では過般組頭若松太郎氏の彈劾運動を越し、半警察署長に陳情書を提出した。小田部署長は圓滿解決に努力してゐたが、二十八日午後一時、護衛隊である同村消防組幹部が署に出頭し、署長に會見意見を交換を行つた。尚ほ若松組頭は過般刑事問題で起訴猶豫となつたので排斥運動を起すに至つたものである。

貧困者救済

湯本町では此程貧困者三十一戸に餅其他を贈つた。

平町人口動態

の七年十二月末現在の人口動態は左の如く六年末より戸數六千六百六十五を増加して居る。
△戸數四千七百三十九戸△人口男一萬一千九百五十一人△女一萬一千六百八十四人△合計二萬三千六百三十五人。

磐城高女校で 卒業生の就職斡旋

七割は就職の希望

平町の縣立磐城高女今春卒業生實行きの悪い今日だけに僅かに百七十五名であるが、此の内希望をつなぐ交換、銀行會社七割に當る百二十名餘が就職を希望する。就職斡旋も思はしから希望し女性の職業戰線進出を如す至難な状態にあるので學校當局に物語つてゐるが、インフレ局では小學校の代用教員として景氣と云ひながら財界向安定せこれ等新しき女性の職業を開拓す、男子中等學校卒業生でさへすべく奔走してゐる。

盗んだ品物を 行商してゐた男

買初めの日悪運盡く

内郷村宮岡野武雄（二）は昨二發見取押へられたが、取調への十七日午後六時頃平町二丁目鍋結果昨年十月から前後十數回嘉酒店倉庫から九升樽醬油三本に亘つてビール、醬油合計百餘を盗み出し荷馬車に積んで引き圓を盗み出し行商してゐた事を自白した。

平警察署管内の人口

十四万二千四百名

平警察署管内昨年末人口は二萬會を開いた。
平警察署管内昨年末人口は二萬七千九百九十七戸、七萬一千八百五十三名、女七万六千二百五十五名、計十四萬二千四百七十八名で、主なる町村別左の如し。
▲湯本町三一五戸、一、四九二七人▲小名領二一四四戸、一、九三〇人▲江名町九四九戸、五、九七九人▲内郷五三四五戸、二、六〇四六人▲好間二五五戸、一、二〇二八人

家賃を踏み

平署に搜索願

伊達郡大久保村生れ高木ヤイ（五九）長女初枝（三七）内夫春田藏雄（二六）の三名は郡山市燈田五〇貨座敷業佐藤文造への家賃二百十圓を踏み倒して逃走した。兵大尉鈴木忠氏の滿洲事變講演の平署に搜索方を願ひ出した。

滿洲事變講演會

江名町では二十六日夜二回江名劇場と江樂館で二十九聯隊歩兵大尉鈴木忠氏の滿洲事變講演の平署に搜索方を願ひ出した。

平驛構内で 老人が卒倒

腦溢血と判明

植田町後田農赤津萬治（六四）は昨二十七日平町へ買物に來て歸り途平驛構内で午後一時二分發常磐線より列車を待ち合せ中突然卒倒死したので大騒ぎとなつたが、平署で検視した結果腦溢血と判明した。

幼兒焼死

着衣に火が移り

湯本町寶海すみの二女三宅みや（四ツ）は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中がぐんぐんの火が着衣に燃え移り無慘の燒死を遂げた。

犯行自白

ギヤング小年

既報平町八幡小路千代次男引地龍雄（一六）同町字胡摩澤梅吉次男亦津静（一九）何れも假名がこの程同町二丁目渡邊銃砲店から運動競技用ピストル六連發、二連發各一挺を窃取してギヤングもどきの大窃盗を働かんと計劃中平署員に探知され二十四日檢査されたことは既報の如くであるが、同人等は其他數件の窃盗を自白したが、なほ驚くべきは去る十八日午前二時頃同町一丁目常盤屋時計店のショウキンを焼き切り陳列してあつた貴金屬及金側時計八個價格三百餘圓を窃取した旨を自白した。二十六日同署安藤、柏木兩刑事が犯人赤津方の家宅搜索を行つた處犯人の父梅吉は我が子には絶対に斯様なことはいふと願はつて保官を手古摺らせたが、犯人の自白により同贓品は全部同家台所の屋根裏に隠蔽されてあつたのを發見したので親子共謀の犯行ではないかと見られてゐる。

在滿軍人慰問金決算書

殘金五百八拾四圓一錢を
石城町村長會に委任
一金二千三拾九圓三十錢也

- △支 出
- 一、拾圓也 西牧伍長遺族へ
 - 一、五拾圓也 佐川上等兵同
 - 一、拾圓也 安島同
 - 一、五拾圓也 箱崎同
 - 一、參百圓也 滿洲派遣兵慰問金
 - 一、拾圓也 山崎同
 - 一、拾圓也 鵜沼同
 - 一、五圓也 渡邊君入營餞別
- 計 四百四拾五圓
外 拾圓二十八錢 凱旋兵歡迎のため金盃四十個購買費
累計四百五拾五圓二十八錢
- 差引殘金
五百八拾四圓

在支軍人慰問後援會

發起人 諸橋久太郎
後援 磐城時報社
立看板代 小田吉治氏 負擔
一、慰問弔慰金贈呈旅費 馬目雅治、佐藤作平 負擔
一、會議費 小田吉治負擔
右之通り御報告申上候

庶民金融の最良機關

福島貯蓄の發展
福島縣が株式の大半を所有し各役員を刷新し一步一歩着實に業務發展の途上にある福島貯蓄銀行を見るに行つた本縣金融界殊に庶民階級の金融機關として當路者の眞剣なる態度と節柄とによりて預金の如きは其の六ヶ月に増加せる口數壹千壹百拾四口拾貳萬五千圓の増加を示し同行獨特月掛貯金は壹千貳百六拾八口參拾壹萬八千四百圓に達し六ヶ月の増加計數は五百六拾貳口拾參萬九千壹百圓に達し眞に更生の實を着々擧げてゐるものと見る可く、且つその資産の内容、資金の運用法を検討せんか、公債は總預金額の七割二分を占めて居る。次には預金者に對する貸付等も相當歩合を示せり。

殊に小産商工者に對する月掛貯金利用による貸出しは大に節柄好評を博してゐる。

要は庶民金融機關として特種の銀行であり、貯金には一切税金のかゝらぬ特典と預金の三分の一は常に公債等を常に政府に供託し預金を保衛して居る点が他と大に趣を異にし我等が安心して預け得る特点である。又本縣が大株主として監督せる点を推して見ても同行の發展を期待してやまぬものである。

平町には同行の支店が昨年四月から新設せられ本店同様の業務を取扱つて居る、其他代理店は次の箇所に設けられ庶民金融の便を計りつゝある。

▲平支店 福島縣石城郡平町田

町字田町壹番地
△中道方代理店 大森代理店
主熊坂金四郎、飯坂代理店主
佐藤秀藏、梁川代理店主田口
恭太郎、川俣代理店主渡邊彌
平治、保原代理店主熊坂六太
郎、郡山代理店主遠藤安一郎
小濱代理店主根本清左衛門、
船引代理店主源清善作、三春
代理店主山田彦輔、瀬上代理
店主門間敏昭、桑折代理店主
川勝健次、月館代理店主菅野
新四郎、二本松代理店主今泉
修二、白河代理店主須藤善勝
常葉代理店主安瀬龍太郎
△會津方代理店 喜多方代理
店主岩田大八、塩川代理店主
齋藤昌造、坂下代理店主五十
嵐清兵衛、本郷代理店主高橋
東夫
△瀨方代理店 中村代理店
主岡和田安海、湯本代理店主
先よいと大喜びである。

木村徳三郎、小名濱代理店主
福尾伊太郎、四倉代理店主長
谷川儀平、植田代理店○株式
會社磐東銀行本店

赤字は申談
景氣は西歳一

借金は大目だ！ 借金取りに
爲の聲！ 廿六日は舊正月元
日となる。平町を中心に附近各
町村では今以て陰曆でのお正月
大賣り出しを開始しインフレ景
氣による挽回策に大奮であるだ
が、農家の人々にはインフレ景
氣の影響は少しもないが、赤字
を申談、景氣を西歳」と縁起を
かつくお百姓さん達は今年は幸
先よいと大喜びである。

家傳腫物湯

のんで効く
はれ物の妙薬

主一 ●面癩 ●よう ●乳の腫れ ●指のはれ ●林巴腺の腫れ
●耳鼻のおでき ●骨膜炎 ●筋炎 ●はれ物手術の前後
効一 ●等 ●よ ●し

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り腫き
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店
平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店
腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

外科 一般外科 内臓外科

性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

豫告中の發賣品は

満洲よせな

てした。御一人前...十五錢で満腹

魚沼會堂

電話六三三番

専門内科一般

〔内科ハ何デモ診療致マス〕
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五改(電話一八一番)

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

三河産業博覽會 金牌受賞
昭和産業博覽會

かまぼく

製造

折詰生造

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

不藤寅

電話一四一番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

病室完備...自炊の便あり

平町町南 大和田醫院
電話一七〇番

吸入用酸素

純度99%

モノサシ 体温器
マカス 寒暖計
ハカリ 器量計

●秤ノ取緒・鍍糸・修覆致シマス

關内藥局

電話四〇番

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平園五〇七番

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然
營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます

華道教授 天水庵 岡田華悦
平町仲町三